

人・自然・文化がおりなす 活力とやさしさのあるまち 飛驒高山

市では、このたび平成27年度から10年間のまちづくりの指針となる第八次総合計画を策定しました。本市の魅力、財産である「人」・「自然」・「文化」がさまざまな形で組み合わせ、活かし合うことにより、新たな活力や元気が生まれるとともに、やさしさがあり、幸せが感じられるまちを目指してまいります。



市をとりまく社会情勢

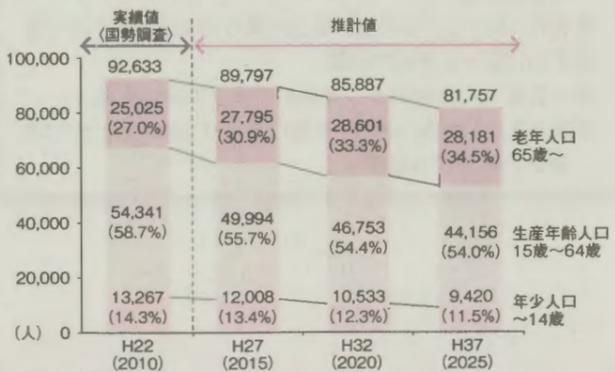
- ◆人口減少・少子高齢化が本格的に進展しています
- ◆経済環境が大きく変化しています
- ◆環境、エネルギー問題が顕在化しています
- ◆人々の安全、安心意識が高まっています
- ◆人々の価値観やライフスタイルが多様化しています
- ◆地方をとりまく財政状況が深刻化しています

10年後の高山市の人口は？

本市の人口は、計画初年度の平成27年に9万人を割り込み、計画期間中は年間800人程度の減少が見込まれます。

生産年齢人口は、平成22年と比べ、1万人以上減少し、労働人口の減少に伴う産業構造の変化、経済活動の縮小、税収の減少などの影響が予想されます。

老年人口は、平成22年と比べ、約3,200人増加し、3人に1人以上が高齢者となります。医療、介護、年金などといった社会保障経費の増加などの影響が予想されます。



次世代のための設計図

第八次総合計画の策定にあたって

10年後に「こんなまちになってほしい」
 10年後に「こんなまちになってほしい」
 そのために毎年何をすべきか

その設計図が総合計画です。計画の策定にあたり市民の皆様をはじめ、多くの団体のご協力をいただくとともに、議会での検討を重ねていただきましたこととお礼申し上げます。さて、一度描いた設計図はこれで終わりではございません。本市をとりまく環境の変化と市民の皆様のニーズをとらえながら、毎年評価して見直す柔軟なものとしています。子どもたちが夢を語り合える未来をきちんと残したい

この総合計画を通じて、市政に対するご理解をより一層深めていただき、未来の高山市をお考えいただく一助になれば幸いです。一緒に将来を築いていきましょう。



高山市長 國島 芳明

総合計画とは

総合計画は、長期的な視点から市の将来の姿を描きながら、その実現に向けて計画的な行財政運営を行うため、まちづくりの方向性を総合的、体系的にまとめたもので、市の最上位計画として市政運営のもっとも基本となる指針です。



市役所1階市民コーナーや各支所で閲覧できます。

計画の構成と期間



総合計画は、基本計画と実施計画・財政計画の2層で構成されています。

基本計画は、まちづくりの基本理念や都市像を明らかにし、その実現のために必要な施策の方向性などを示しています。

実施計画は、基本計画に示された施策の方向性に基づく事業を定め、事業規模などを示しています。

財政計画は、実施計画と予算の整合性を保ち、健全な財政運営を確保するため、中長期的な財政収支見通しを示しています。

基本計画の体系

基本理念(今後のまちづくりの考え方)

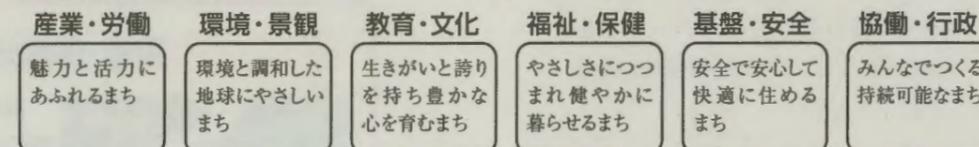
「協働」「創造」「自立」

市民が主役という考えのもと、多様な主体が「協働」してまちづくりに取り組むとともに、先人たちが築き上げてきたまちの財産を継承しながら、新たなまちの魅力や個性を「創造」し、将来につなげていくことで、市民が夢と希望を持ち、心豊かに暮らしていくことのできる「自立」したまちを目指す

都市像(本市の将来のあるべき姿)

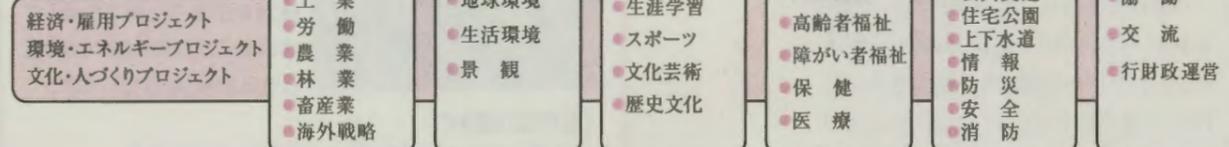
人・自然・文化がおりなす 活力とやさしさのあるまち 飛驒高山

基本分野・基本目標



個別分野

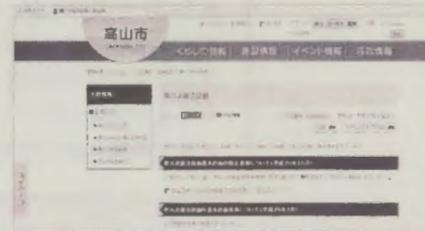
重点プロジェクト



◆総合計画はホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1004958/1001829.html>

高山市第八次総合計画 検索



ご利用ください! 出前講座

総合計画やまちづくりの現状などについて、地域や職場、学校などにお伺いし説明をさせていただきます。会社や町内会などいろいろなグループで、お気軽にご利用ください。

申込・問合せ先 企画課 ☎35-3131

問合せ先 企画課 ☎35-3131
広報ID 1001829

重点プロジェクト

重点プロジェクトは、分野の枠組みを超えた横断的な視点のもと、各分野で取り組む関連施策を有機的に連携させることで、より大きな相乗効果を発揮することをねらいとしています。

経済・雇用プロジェクト

経済環境の変化に柔軟に対応しつつ、豊かな地域資源の活用や産業間の連携などによって産業全体を活性化させ、地域の雇用創出につなげていく「経済・雇用プロジェクト」を積極的に推進します。

環境・エネルギープロジェクト

先人から受け継いだ自然環境を守り、さらに次の世代にしっかりと引き継ぐとともに、自然が生み出すエネルギーなど多様な恵みを有効に活用していく「環境・エネルギープロジェクト」を積極的に推進します。

文化・人づくりプロジェクト

生きがいを持って住み続けたいと思えるまちづくりに向け、文化力の向上とともに、豊かな心や知識、高い能力を身に付けた人材を育てていく「文化・人づくりプロジェクト」を積極的に推進します。

分野ごとの取り組み

産業・労働分野



「飛騨高山」の魅力が高まるとともに、生活の基盤となる産業が活性化し、誰もが仕事と生活の調和のとれた安定した生活を送ることができる「魅力と活力にあふれるまち」を目指します。

【主な取り組み】

- 観光・商工業と農林畜産業などが連携した国内外への誘客活動や宣伝販売促進活動の推進
- 飛騨高山ブランドの強化
- 起業家の包括的な支援体制の強化
- 伝統産業や農林畜産業における後継者や担い手の育成・確保
- 仕事と生活が両立できる環境整備の促進
- UIターン就職者への支援などによる若者の地元定着の促進

福祉・保健分野



福祉・保健・医療などの連携のもと、地域における支えあいの仕組みが整い、誰もが生涯にわたって必要な支援が受けられ、健康で安心した生活を送ることができる「やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち」を目指します。

【主な取り組み】

- 協働のまちづくりなどによる地域福祉体制の整備
- 福祉サービス総合相談支援センターの設置などによる市民の生涯にわたる切れ目のない総合的な相談支援体制の充実
- 安心して子育てができる環境の整備
- 高齢者の経験や能力を活かす体制の整備
- 生活困窮者や障がい者の生活の自立に向けた支援
- 心身の健康づくりへの支援
- 地域医療体制や救急医療体制の整備

環境・景観分野



環境の保全と活用のバランスが保たれ、地球への負荷が少ない「環境と調和した地球にやさしいまち」を目指します。

【主な取り組み】

- 身近な自然環境や生物多様性の保全
- 自然とふれあう場の整備、ふれあう機会の創出
- 省エネルギー対策の推進などによる低炭素社会の形成
- 太陽光発電の導入や木質バイオマス利用の拡大などによる自然エネルギー活用の推進
- 産学官連携による自然エネルギーを活用した「飛騨高山モデル」の構築
- 新たな火葬場やごみ焼却施設の整備
- 歴史的町並み、農山村景観、自然景観の保全

基盤・安全分野



良好な都市基盤が整備され、災害・事故・犯罪などのあらゆる危険から生命や財産が守られることで、誰もが不安を感じることなく便利で心地良い生活を送ることができる「安全で安心して快適に住めるまち」を目指します。

【主な取り組み】

- 高山駅周辺エリアの整備などによる都市活動拠点の形成
- 道路構造物や水道施設などの耐震化・長寿命化の推進
- 自主運行バスなどの地域公共交通の利便性の向上
- 住宅の耐震化やユニバーサルデザイン化の促進
- 公衆無線LANの整備促進
- 避難行動要支援者の支援強化などによる地域の防災力の向上
- 交通事故や消費トラブルの防止、防犯体制の強化
- 消防団への加入促進、消防団の活動の充実

教育・文化分野



子どもからお年寄りまでのそれぞれのライフステージにおいて、さまざまな教育・文化活動が活発に行われ、心身ともに充実した生活を送ることができる「生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち」を目指します。

【主な取り組み】

- 自ら学び考える力の育つ教育や豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- 地域全体の協働による郷土教育の推進
- 生涯学習成果の活用の推進
- 健康増進のためのスポーツ活動や競技スポーツ活動の充実
- 高地トレーニングエリアの整備
- 文化芸術の薫るまちづくりの推進
- 歴史文化に親しみ理解する機会の充実

協働・行政分野



市民と行政が良きパートナーとしてそれぞれの役割分担のもと、協働してまちづくりが行われ、次の世代に引き継いでいくことができる「みんなで作る持続可能なまち」を目指します。

【主な取り組み】

- 協働のまちづくりの推進
- 市民の声や意見を聞く機会の充実と施策などへの反映
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境の整備
- 国内外の姉妹・友好都市などとのさまざまな分野における交流の推進
- 移住に関する宣伝活動の推進や総合的な移住者への支援
- 平和に関する意識の高揚
- 公共施設の総合的かつ計画的な施設管理の推進
- 新たな自主財源の確保、予算の重点化・効率化などによる財政の健全性の確保